

## 『超小型人工衛星 熱真空試験現場見学会』

県では、人工衛星製造拠点化を目指し、ふくい宇宙産業創出研究会において超小型人工衛星に関する情報提供や共同研究などを行っており、令和2年4月から7月にかけて、『人工衛星設計基礎論2020』をオンラインセミナー形式で実施し、人工衛星設計の基礎知識を習得していただいたところです。

このたび、環境試験の見学会を下記のとおり開催します。宇宙機製造現場を見る機会ですので、ぜひご参加くださいますようご案内します。

- 1 日 時 令和3年3月5日（金） 12:30～14:00
- 2 場 所 福井県工業技術センター 講堂・熱真空試験機室
- 3 対象者 ふくい宇宙産業創出研究会会員  
※コロナ感染対策のため、県内在住者に限定します。
- 4 内 容 福井県で製造する衛星のフライトモデル熱真空試験の見学  
(1) 講義「宇宙環境と各種環境試験」(12:30～13:00)  
講師 福井大学 産学官連携本部 特命准教授 青柳 賢英 氏  
(2) 熱真空試験現場見学 (13:00～14:00)  
現場説明 青柳特命准教授  
(コロナ感染対策徹底のため、参加者をグループ分けします)
- 5 参加費 無料
- 6 申込先 県工業技術センター 新産業創出研究部  
宇宙技術研究グループ 松井、岸本、橋本  
E-Mail : foip@fisc.jp TEL : 0776-55-0664
- 7 主 催 福井大学産学官連携本部、ふくい宇宙産業創出研究会、  
ふくいオープンイノベーション推進機構
- 8 その他
  - ・今回の見学会は(株)アークエッジ・スペース、セーレン(株)のご協力により実機の試験現場を見学するものです。作業状況により見学スケジュールが変更になることがあります。
  - ・申し込み状況により人数を制限させていただく場合があります。

## 講師のご紹介

【講師】 青柳 賢英（あおやなぎ よしひで）氏

【所属】 福井大学 産学官連携本部 特命准教授

【主な経歴】

○2012年

北海道工業大学大学院 応用電子工学専攻 博士号（工学）取得  
学部生時代には、超小型衛星 HIT-SAT の開発に参加  
博士課程では、ハイパースペクトルセンサの研究開発

○2012年 - 2013年

東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻 特任研究員  
超小型衛星 ほどよし 3、4号に関わる研究開発(搭載地球観測カメラ、運用管制、ロケット I/F 等)

○2014年

東京大学 先端科学技術研究センター 特任研究員  
ほどよし 3、4号衛星の運用、ほどよし衛星を含む超小型衛星のデータ利用に関する研究に従事

○2015年 - 2019年12月

東京大学大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻 特任研究員  
多数の超小型衛星の研究開発に従事 (TRICOM-1、1R、MicroDragon、RWASAT、AQT-D、G-SATELLITE 等)

- ・ TRICOM-1、1R 衛星バス・カメラミッション担当
- ・ RWASAT-1、AQT-D 衛星バス開発マネージャー
- ・ G-SATELLITE 衛星開発マネージャー

2016年1月、人工衛星設計基礎論にて「人工衛星のデータ処理系」を担当

2017年7月、ふくい宇宙産業創出研究会 高度技術研修にて「人工衛星の運用管制」を担当

2018年1月以降、RWASAT-1、AQT-D、G-SATELLITE 開発を通じ福井県内の宇宙機設計・開発・製造技術者の育成に貢献

○ 2019年12月～ 現職

宇宙産業に取り組む県内企業の技術支援や人材育成、ハイパースペクトルカメラ等の観測カメラの研究開発に従事



ほどよし衛星



TRICOM-1R

以上